

芦田川の水環境改善を目指した「第Ⅱ期芦田川水環境改善アクションプラン」を策定しました！

1. 「第Ⅱ期芦田川水環境改善アクションプラン」ってなに？

芦田川流域では、平成 8 年 2 月に「芦田川水環境改善緊急行動計画（清流ルネッサンス 21）」を策定し、計画の時点修正を行いながら、関係機関が一体となって水環境改善を推進してきました。

これらの取り組みにより、平成 27 年～30 年は環境基準を達成するなど、水質は改善してきています。

環境基準の達成を継続・維持していくため「第Ⅱ期芦田川水環境改善アクションプラン」を策定し、引き続き水環境改善に取り組んでいきます。

これまでの取り組み（計画策定）状況は以下のとおりです。



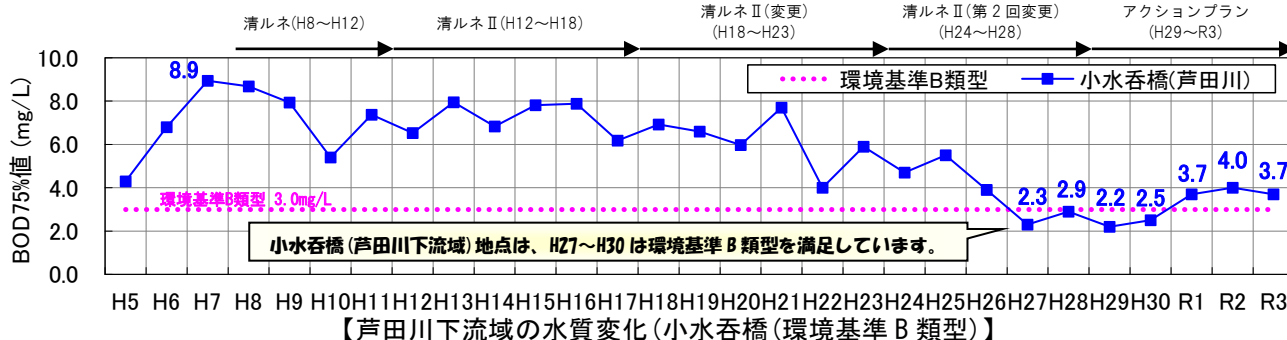
【芦田川下流域の水質調査地点】

策定年月	取り組み（計画策定）状況	目標年度
H8.2	「芦田川水環境改善緊急行動計画（清流ルネッサンス 21）」策定	平成 12 年度
H15.4	「芦田川水環境改善緊急行動計画（清流ルネッサンスⅡ）」策定	平成 18 年度
H20.3	「芦田川水環境改善緊急行動計画（変更）（清流ルネッサンスⅡ（変更））」策定	平成 23 年度
H24.4	「芦田川水環境改善緊急行動計画（第 2 回変更）（清流ルネッサンスⅡ（第 2 回変更））」策定	平成 28 年度
H29.3	「芦田川水環境改善アクションプラン」策定	令和 3 年度
R4.3	「第Ⅱ期芦田川水環境改善アクションプラン」策定	令和 8 年度

2. 芦田川下流域の水質変化について

芦田川下流域は、生活系の汚濁負荷比率が高く、流量が少ない特徴とあいまって、水質環境基準を達成していませんでしたが、下水道整備や各種対策の進捗に伴い、水質は改善されてきています。

芦田川下流域の小水呑橋では、平成 27 年～30 年において水質環境基準を達成しています。しかし、雨の降り方によっても水質は変化するため、令和元年以降は水質環境基準を超過しており、今後も継続して水環境改善に取り組む必要があります。



BOD、BOD75%値とは？

BOD とは、Biochemical Oxygen Demand（生物化学的酸素要求量）の略です。水中の微生物は酸素を取り込み有機物を分解して気体にし、水をきれいにします。BOD とは、この時に必要な酸素の量のことを示し、この数値が大きいほど水が汚れていることを示します。

75%値とは、年間の観測データを良い方から並べて、75%目の数字を指します。75%値がその地点に設定されている環境基準値以下である場合に、環境基準を達成していると評価されます。

3. 「第Ⅱ期芦田川水環境改善アクションプラン」の概要

水環境の改善に向け、今後 5 年間の目標（スローガン）、水環境の改善目標を設定し、各機関・参加団体が一体となって行動計画『アクションプラン』を掲げ、連携して水環境改善を推進します。

計画の概要

【目標年度】令和 8 年度

【目標（スローガン）】

人々が誇れる芦田川を目指して、一緒に取り組むもう！

【水環境の改善目標】現況ランク維持もしくは1ランクUP

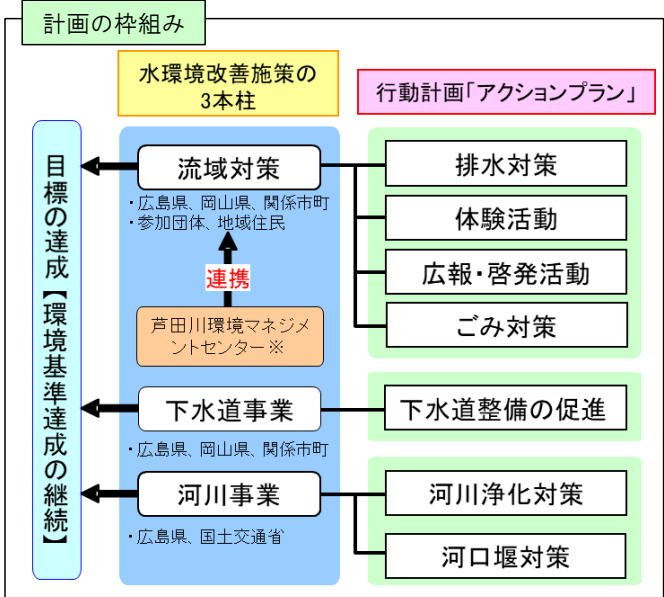
【芦田川の目標ランク】

流域ブロック	対象地点	現況ランク	目標ランク	備考
芦田川 中・上流域	中津原 (芦田川)	A	A	◎環境基準点 (支川高屋川合流前)
高屋川流域	出原橋 (高屋川)	B	A	◎横尾地点（環境基準点）下流 ◎芦田川合流前
瀬戸川流域	瀬戸川 (瀬戸川)	B	A	◎一般基準点（芦田川合流前）
芦田川下流域	小水呑橋 (芦田川)	C	B	◎環境基準点 (支川瀬戸川合流後)

目標ランクの評価は、下記に分かりやすく、住民が参加しやすい指標を基に評価します。

【芦田川の水質指標】

ランク	感覚 イメージ	評価項目と評価レベル			BOD75%値 (mg/L)
		ゴミの量	水のにおい	透視度 (cm)	
A	川の中に入 って遊びたい	川の中や水際にゴミは 浮いていない	臭いがしない	100 以上	環境基準 の達成
B		川の中や水際にゴミが ほんの少し浮いている		70 以上	
C	川岸で 遊びたい	川の中や水際にゴミが 少し浮いている	ほとんど 臭いがしない	40 以上	4.0 以下
D	川に近づき たくない	川の中や水際にゴミが 浮いている	少し不快な 臭いがする	40 未満	4.0 超過

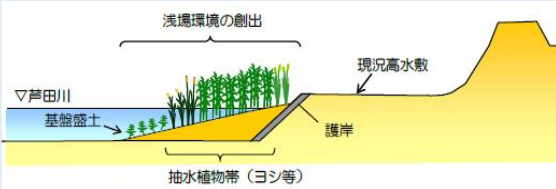


※ 芦田川環境マネジメントセンター
水質改善に対する住民活動を推進するため、河川環境に関する情報提供・環境学習支援・市民活動支援など、**住民活動をトータルに支援・連携する市民活動団体**として平成16年に設立。

4. 「第Ⅱ期芦田川水環境改善アクションプラン」で追加となった主な取組

芦田川下流域の水環境改善

環境基準を継続して達成するため、引き続き行動計画「アクションプラン」を進めるとともに、芦田川下流域の水際部では、水質保全と併せて多様で良好な水生生物の生息環境の保全・整備について新たに検討を始めます。



【芦田川水際整備のイメージ】

持続的な情報発信

芦田川の水質が改善されてきている現状や、水質改善の取組状況など、芦田川に関する情報を流域の方々に周知するため、関係機関・団体の更なる連携により、芦田川の現状を、持続的に情報発信していきます。

ごみ対策の強化

河川ごみは、身近な水路等を経由して芦田川に流れ込むため、これまで実施している河川清掃等の取り組みに加え、流域内での清掃活動や啓発活動を行動計画「アクションプラン」に位置づけ、流域全体でごみの発生抑制を推進していきます。

【流域内でのごみ対策の行動計画「アクションプラン」例】

実施主体	行動メニュー	行動目標
広島県	関係機関が連携した不法投棄等撲滅するための情報交換やパトロールの実施	—
福山市	ラブリバー制度による県民や民間団体等の河川清掃活動の支援	—
府中市	不法投棄防止及び環境美化対策(ごみ拾いイベント、環境施設等での啓発活動、出前講座等)	実施数の増加に努める
岡山市	府中市グリーンパトロール隊員による市内パトロール及び不法投棄物の回収	随時
井原市	産業廃棄物監視指導員による監視パトロール及び投棄者に対する適正指導	随時
国土交通省	不法投棄巡視員による市内パトロール及び不法投棄物の回収	随時
	環境美化推進員による不法投棄物の市内パトロール	随時
	ごみマップの更新・公表	年1回

【お問い合わせ】

芦田川下流水質浄化協議会 事務局

住 所：〒720-0031 広島県福山市三吉町 4-4-13 福山河川国道事務所内

電 話：084-923-2628（担当：調査設計課） E-mail：fukuyama@cgr.mlit.go.jp

アクションプランの詳細はこちら

